

学習会 No.9「アマゾンの森守ろう！－南研子現地支援報告とトラスト運動－」報告



10月3日土曜日、広島市留学生会館で開催しました学習会は60名（うち留学生4名、学生4名）の参加者を得て、無事終了することができました。二次会にも26名の参加があり、今年もアマゾン現地支援後の南研子さんの熱いメッセージを多くの方々と共有できたこと、心から感謝いたします。

現地は緊急事態が迫っています。議会でシンガー川上流にブラジル最大のダム建設が可決されました。「支援対象のシンガー地域もいつどこで火の手があがってもおかしくないほど危機的な状況に置かれている。」様子が沢山の写真とともに、生々しく語られました。「アマゾンの森とインディオの人は今、必死で生き延びるために努力し耐えている」のです。広島からできることを、今始めることが私たちにも求められています。

当日頂いた感想文を紹介させていただきます。

「・・・自分たちが自然に対してしていることが、かえてきたのかと思いました。自然を傷つけると、自分たちにもそのむくいが返ってくる。改めて自然の偉大さを感じました。私にできることはわずかかもしれませんが、何か行動に移そうと思いました。・・・」

（広島市安佐南区 N.K.さん）

「・・・世界で様々な事が起きている今、現地の声を届けてくださる研子さんの話いつも心に響き、これではいけない！！と思い知らされます。今日の話をお忘れずに、自分のできる範囲で自分なりに考えて日々生きてゆこうと改めて思いました。研子さんまた広島へ来てくださいネ。」

（東広島市 R.F.さん）

「初めて参加をして南研子さんのスピーチを聞き大変感動致しました。これからますます元気いっぱい日本人代表という気持ちでこの会を大きく輪を広げ頂き、又会員の方も会員を増すことに一生懸命がんばってもらいたいと思います。・・・これからも広島県内の地域にPRして研子さんの講演をお願いしたいと思います。」

（三原市 Y.N.さん）

「アマゾンの森を守るために何かしたいとは思いますが、お金がないのが悩みのタネです。南さんの熱意と行動力に頭が下がります。ただ精霊とか神々ということはどう考えたら良いのかとまどっています。自分にとっての大事な課題として、しっかり向き合ってみようと思っています。」（初参加された広島市安佐南区 Y.I.さん）



*おっころい42号とともに、「緊急報告！！」（別紙）が出されました。広島でも緊急支援のため11月の署名活動および基金プロジェクトを立ち上げる計画中です。詳細は追ってご報告します。

皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

NPO 法人 熱帯森林保護団体ひろしま スタッフ一同